



新聞まさひこ通信

あけぼの曙

公明党福岡県議団 会報

発行責任者

福岡県議会議員

新聞 昌彦

福岡市早良区曙2-1-35

Vol.93号

令和4年1月2日発行

12月議会報告



新聞昌彦は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

12月議会 (12/1~12/20) では、 3次に渡る補正予算が提案され成立

**当初…12/1提出議案で、一般会計で17億5300万円余、
企業会計で5700万円余**

新型コロナウイルス感染症対策、8月大雨災害の復旧・復興に要する経費のほか、地域活性化に必要な経費を措置

2次…12/7追加議案で、一般会計で29億9100万円余を減額

一般職の期末勤勉手当の引下げなど、給与の改定を実施する。併せて、特別職の職員及び県議会議員の期末手当についても減額とした。

**3次…12/20追加議案で、一般会計で868億2900万円余、
企業会計で3億7007百万円余**

国の補正予算を最大限活用し、新型コロナウイルス感染症対策、地域経済の活性化と成長・発展に要する経費のほか、安全・安心の確保に必要な経費を追加。



公明党代表質問 (浜崎達也県議)

●知事の政治姿勢について・新型コロナウイルス第6波対応・本県の働く環境に関する独自調査から・私立大学支援●精神障がい者福祉施策について●バリアフリー杉デッキ歩道の活用について●コロナ禍における結婚縮小について●県職業訓練の技術者育成について●中小企業支援策について●夜間中学設置進捗について、知事、教育長を質しました。

**9月議会で公明党が提案していたSDGs登録制度創設について、
12月議会代表質問で自民党からも提案がありました。**

知事は、

SDGs登録制度は有効な取組である。商工団体や金融機関等の意見を聞きながら、他県の制度も参考にして、企業のSDGsを推進していくための仕組みや制度について今年度中に検討会を立ち上げて参る。